

令和2年度授業改善推進プラン

東村山市立 秋津東小学校 第3学年

教科等	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策 【主体的・対話的で深い学び】
国語	知識及び技能	・日記や作文など書くことが好きな児童が多いが、学習した漢字を用いて文章を書くことができない。	・国語辞典を身近に置き、言葉の意味やその扱い方についてすぐ調べられるようにすることで、語彙を増やすことにつなげていく。
	思考力, 判断力, 表現力等	・筋道を立てて考えたり、構成にそって文章を書いたりして、自分の思いや考えを進んで書くことはできるが具体的に表現できていない。	・自分の考えを小集団で伝え合う活動を計画することで、表現力を養っていく。 ・自分の考えを答える時に必ず本文のどこからそう感じたかを考えさせ、本文から根拠を出す習慣をつける。
	学びに向かう力, 人間性等	読書が好きな児童は多いが、文章を基に問題に回答することが苦手な児童がいる。	・自分の考えを答える時に必ず本文のどこからそう感じたかを考えさせ、本文から根拠を出す習慣をつける。
社会	知識及び技能	・身近な地域や自分たちの市の様子、地図記号などが定着していない。	・身近な地域の白地図を完成させるために、地域探検をしたり市内の地図を活用したりすることで、知識を関連付けて定着させる。
	思考力, 判断力, 表現力等	・社会科見学や体験学習で学んだことが一時的なものになってしまい、その後の学習に生かすことができていない。	・社会科新聞や町探検のまとめ学習など児童が知識を活用できる場面を多くし、自分の生活との相互関係を考えさせる。
	学びに向かう力, 人間性等	・自分たちの住む秋津町地域や東村山市のことをあまり知らず、関心の薄い児童がいる。	・地域に出る学習を設定し、関わりを深くすることで、地域に関心と愛着をもてるようにする。
算数	知識及び技能	・時刻や時間を計算で求めることが苦手な児童が多い。 ・長さでは、単位の換算が十分定着していない。	・模型時計や数直線を用いて考えさせる。日常生活の中である時刻からある時間経過した時刻などを問い、必然性をもたせる。 ・長さの量感を実感できる学習場面を設け単位の関係を理解できるようにする。見当をつける習慣をつける。
	思考力, 判断力, 表現力等	・工夫して計算する力に課題がある。 ・わり算では、立式や計算はできても問題作りの場面で文章表現につまずきがある。	・日常的に計算のきまりを用いて解くよう助言し全体で確認する。 ・文章問題を読んだ時にキーワードに印をつけさせる。また、問題作りの時間を確保
	学びに向かう力, 人間性等	・意欲的に学ぼうという姿勢がある。 ・学んだことを日常生活に生かす力が弱い。 ・習熟の個人差が大きい。	・身の回りの事象をグラフにまとめて新聞を作るなど、日常生活で活用できる例を児童に提示する。 ・個別指導の実践を重ねる。
理科	知識及び技能	・ミニちろりん村などで生き物を探したり、生き物を育てたり、観察したりすることで生物は、姿に違いがあることや周辺の環境と関わって生きていることを理解できている。 ・単元によって基礎的知識や経験に個人差がある。	・具体物に直接触れ、実感することで基本的な知識や技能を身に付けるようにする。 ・観察したり調べたりする機会を多くとるようにし、知識の定着を図る。
	思考力, 判断力, 表現力等	・生き物を探したり、観察したりすることは進んでできるが、どのような観点でまとめ表現すればよいか考える力が定着していない。	・教科書の観察モデルを取り上げ、どのような観点で観察しまとめるとよいかを具体的に示す。
	学びに向かう力, 人間性等	・理科好きな児童が多く、生き物を探したり観察することに意欲的だが、植物の世話を進んで行うことができない児童がいる。	・生き物や植物の飼育に責任をもたせ、継続して取り組むことで自然を愛する心情を育てたり、主体的に活動できるよう教材を工夫したりする。
音楽	知識及び技能	・曲想や曲の特徴に気付くことができる。リコーダーの持ち方や指使いが定着していない児童が見られる。	・学習したことを振り返りながら、一人一人に応じた個別指導の時間を設け、スモールステップで定着を図る。
	思考力, 判断力, 表現力等	・楽曲から、聴き取ったり感じ取ったりしたことを生かしながら、思いや意図をもって表現することが課題である。	・児童の思いやアイデアを認め合い、表現の高まりを教師が具体的に伝え、共有していくようにする。
	学びに向かう力, 人間性等	・音楽活動をする楽しさを感じる多く見られるが、音楽経験においては個人差がある。	・児童の発達段階や実態に合わせて教材を選択し、音楽への興味・関心を高めながら表現の幅を広げていく。
図工	知識及び技能	・いろいろな材料や道具を扱っての造形活動を体験しているが、技術的な個人差が大きい。	・基本的な道具の使いの全体指導をした後、苦手な児童への個別指導を行っていく。
	思考力, 判断力, 表現力等	・材料と作品イメージをつなげながら造形活動に取り組んでいる。	・さらに意欲をもって取り組めるよう材料や道具を使う経験を多く取り入れる。
	学びに向かう力, 人間性等	・自分の作品についての自己評価が高まるように工夫した取り組みをし、機会を増やす。	・鑑賞の発表の方法をいろいろ工夫しながら鑑賞の力を高める。
	知識及び技能	・健康な生活についての理解はできている。 ・なわとび運動を苦手とする児童が多い。	・スモールステップで技を習得することができるよう学習カードを活用するとともに指導を工夫し、「できた」という気持ちをもてるようにする。

体育	思考力, 判断力, 表現力等	・運動についての課題を解決する方法をそれぞれに工夫することができているが、考えたことを伝え合うことはできていない。	・話し合いの場や意見を伝えあう場を設定する。
	学びに向かう力, 人間性等	・体を動かす心地よさを味わい、基本的な動きを身に付けようと一人一人が努力している。	・児童が「やってみたい」「できるかも」と思うような簡単な基本の動きから始めて、徐々に難度を上げていく活動を取り入れ、運動の意欲を高める。
外国語	知識及び技能	・言語に慣れ親しんだり、進んでコミュニケーション活動に取り組んだりできる児童が多い一方、活動に消極的な児童もいる。	・チャンツやゲームなどを通して言語に慣れ親しむことで主体的に活動できるようにする。
	思考力, 判断力, 表現力等	・外国語活動の時間だけではなく、日常的に言語を扱うことで、自分の気持ちを伝えようとする児童が増えてきた。	・導入の部分でSmall Talkの時間を設けたり、日常的な場面で他言語を用いてやり取りすることで自分の気持ちが伝わるようにする。
	学びに向かう力, 人間性等	・楽しくALTとのやり取りができたり、英語以外の言語に興味をもったり他国の文化に関心をもったりしているが、文化を理解するまでは至っていない。	・絵本や映像を通して、言語やその背景にある文化を尊重できるようにする。
総合	知識及び技能	・課題の解決に必要な知識や技能がまだ育っていない。	・図書やインターネット、インタビューなどの調べ学習を通して、自分で必要な情報を収集し活用する力を育てる。
	思考力, 判断力, 表現力等	・主体的に追究する力は個人差が大きく、課題設定をしたり、課題解決の方法を考えたりするのが苦手な児童いる。	・少人数での活動を通して、友達や自分の意見を共有し、協同して活動ができるようにする。
	学びに向かう力, 人間性等	・課題による意欲の個人差は認められるものの、全般的に意欲は高い。	・ゲストティーチャーの活用や異学年への発表を通して、主体的に活動できるようにする。